

コパーがルシー・リーの工房に陶製ポタン作りのアシスタントとして職を得たのは一九四六年だった。リーもナチスの脅威からロンドンに移りハイドパーク近くの路地にささやかな工房兼住居を作った。コパーはルシーと出会うまで作陶の経験はなく陶芸をしようと考えた事はなかった。しかし働き始めると仕事に興味湧き短期間で轆轤も上達し、ルシーもコパーの才能を見抜き二人は共同製作を一時期だが始めた。その後コパーは独自の作品を作りだすと、二人は別々の道を歩み出した。

芸術家としての生活は全く質素なものであったことからコパーの作品には余分なものはずべて剥ぎ取って最も純粋な状態で完成させる基本的な手法から成り立っていると感じられました。コパーの作品は壺や食器だけでなく壁面にも用いられたりしています。私はイングラントのセントリー大聖堂に現存するコパーの燭台を次回は是非見学してきたいと願っています。前回コベントリーに行ったにも拘らず詳細に見学してこなかったからです。

海外旅行の楽しみ(ベトナム紀行)

京都支部 四方公子

朝晩の気温の変化に戸惑う事の多かった今年の冬も、ようやく落ち着き、桜の花も一気に咲きはじまりました。何処かへ出かけた気分をもう少しの辛抱と思いがながらの毎日です。昨年暮れに腰の激痛で動けなくなり、じつと我慢の2ヶ月間。それも良くなると忘れてしまい、又行きたいと思いはじめます。海外は夫婦で今のところ何とか旅行出来るので、今の内とはばかり、適当な旅をしています。昨年7月に行ったベトナムを思い出して、投稿させていただきます。

7月の京都はものすごく蒸し暑く、普通なら涼しい処を求めて旅行するのですが、ベトナムはそれに劣らず、もっと蒸し暑いと思っていたのですが、案外楽な旅でした。先ずホーチミンに着いてびっくりした事は、ものすごい数のバイク。それも二人乗り三人乗り

と、ものすごいスピードで横五列位は普通で走り抜ける。赤ん坊も一緒に乗っている。我々は横断歩道も恐々歩く始末。信号もほとんど見当たらない。でも交通事故は旅行中一度見ただけだった。皆慣れているとは言え恐れ入る光景だった。ホーチミン観光後空路ダナンへ。世界遺産のフエ王宮からドンパ市場へ。

私は何時も旅行先の光景を絵にしている。今回の旅行も、第37回展に水彩で市場をモチーフにして出品した。私の旅行の目的の一つにもなっているのを達成した。

フエからホイアンへ。今回の旅行の私の行きたい場所の一つ。昔からの街並みがかもも世界遺産になっている。色とりどりの提灯と行き交う人の身形が何ともエキゾチック。ミソン遺跡もベトナム戦争の傷跡が大きく残っていた。掛替えのない遺産がこんなにも傷つけられて、悔しい気持ちと多くの人達の命を奪った戦争を一層憎らしくも思った。

ベトナム陶磁器の村では、手描きの様子を見学したが、若い女性の素晴らしい描き方にうっとり。面相筆をスイスイと使い羨ましい限り。この様子も又絵にしたい。旅行に出るとあれもこれもと一杯イメージと欲が出る。ハロン湾ではものすごい雨に合いながらも面白い事に、あちこちで雨の通り道がはっきり分かれて見ることができ、歩き出た岩の間を多くの船が行き交い、港に着くとこんなに大勢の人が乗っていたのかと又驚く。

私共夫婦はほとんど好き嫌いも無く、どこかの料理も文句なしなので、気楽に旅ができる。そんな訳で、今回は元気で戻って来れたので又次が楽しみなのです。一回行けば必ずその国の印象をモチーフにして、新日美の本展に絵を出品するという目標は未だに続いている。これからもそう有りたがい...



「映画館の看板」、実は...

早田美智子

会員(東京支部)の堀川新二さんがその昔、映画館の専属として「大看板」を描かれていたということについてご紹介したいと思います。

「昔、こんなことをしていたんですよ」と白黒写真のコピーを見せてくださったのは新日美東京支部展の会場で受付当番をご一緒した折でした。

建物の屋上にも達しているような大看板です。三船敏郎、美空ひばり、勝新太郎、森繁久彌...。お一人で描かれたものとお聞きし、びっくりするやら懐かしいやら。堀川さん二〇代、三〇代にかけての「作品」とのことでした。

「三船敏郎の『用心棒』とか『椿三十郎』とかもつといたのがあったんですけど、就職の度に人に渡してしまっただけ、今はほとんど残っていないんですよ」と残念そうでした。写真の場所は九州、伊万里の「国際映画劇場」。五〇年も前のことだそうです。

その後は仕事が変わり、再び絵を描くようになったのはずつと後のことで、公募展への出展は七〇歳からとか。大看板を描かれていたことを内緒ごとのように話されていたのですが、是非新日美の皆さんにご紹介したく掲載を了解していただきました。

堀川さんは現在八二歳。新日美三五回展で特選を受賞されています。

堀川さん20代・30代のころの作品です

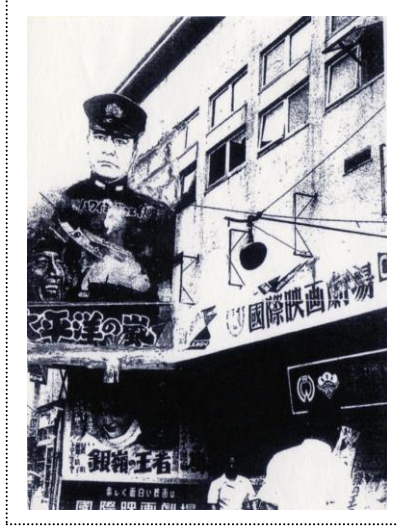


女ざむらい 只今参上

美空ひばり S33年



勝新太郎 秦の始皇帝 S37年



三船敏郎 太平洋の鷲 S35年